



【戦評シート】

平成 16年 5月 3日(火)	協会名： 能代市 バスケットボール協会	
場 所：能代市総合体育館	記入者： 藤澤 大樹	
チームA BG74	19 - 13 22 - 8 9 - 17 18 - 20	チームB 58 市立船橋

スターター	チームA： 4 10 13 14 15	チームB： 5 7 8 11 15
ディフェンス (試合開始時)	チームA： マンツーマン ゾーン(2 - 3) その他()	チームB： マンツーマン ゾーン() その他()

能代カップに初めてドイツから参加したBG74の初戦。そのプレーに注目が集まり、観客席もほぼ満員となった。

第1Q立ち上がり、BG74は2 - 3ゾーンDF、市立船橋はマンツーマンDFでスタート。BG74は199cmのダウネが高さを生かし、ゴール下を決める。一方、市立船橋は築瀬が外からジャンプシュート、3Pを決める。BG74は序盤やや硬さが見られたものの、積極的に1対1を仕掛け、ニースのカットインなどで確実に加点。市立船橋は早いパス回しから内や外のシュートを打つが、相手の高さを意識してか、なかなかシュートが決まらず苦しい展開。残り3分過ぎから久保の速攻などで返し、19 - 13とBG74リードで終了。

第2Qに入ると、BG74は210cmのボスがポストプレーから得点、またはチャンスを作り、確実に得点を重ね、試合の主導権を握る。その後もニースの3P、バンチコフのカットインなどで加点する。市立船橋はリバウンドを支配され、シュートも決まらず3分半、得点なし。ようやく神がドライブインを決めるも、ミスが多くなってしまい、リズムをつかめない。41 - 21とBG74が差を広げ、前半終了。

後半、市立船橋はDFを2 - 3ゾーンDFにし、インサイドを固める。これが功を奏し、BG74ボスのポストプレーを封じ、徐々にリズムをつかむ。中山のジャンプシュートやゴール下、神のジャンプシュートや速攻などで追撃する。BG74は攻め手を欠き、ターンオーバーが続く。第3Q残り2分で市立船橋が8点差まで詰めるが、そこからミスが続いてしまい、50 - 38とBG74が12点リードで終了。

第4Qに入っても市立船橋は踏ん張り、福田が3Pを2本連続で決め、44 - 50まで追い上げる。しかし、BG74はボスにボールを集め、高さを生かしたポストプレーで連続得点。市立船橋は築瀬がカットインや3Pを決め、追いすがすが差を広げられてしまう。残り2分でTOを取り、オールコートプレスをかけるが、BG74は落ち着いた試合運びでこれをかわし、10点差で逃げ切った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。